

逆引きのDNSSEC対応

DNSSEC 2013 スプリングフォーラム
2013年5月29日(水)

内容

- 逆引きDNSへのDNSSEC(逆引きDNSSEC)に関わる状況
- レジストリにおける逆引きDNSSEC導入について
- レジストリにおける逆引きDNSSEC導入で起こりうること

逆引きDNSへのDNSSECに関わる状況

- 国際的な逆引きDNSSECの導入状況

RIR	APNIC	ARIN	RIPE NCC	LACNIC	AfriNIC
導入時期	2010年4月	2009年7月	2005年	2011年	2012年5月

※DSレコードの提供時期

- AP地域

- 導入を開始したNIRはまだなく、JPNICを含む、NIRに割り振られているIPアドレスの逆引きDNSSECのDSレコードは登録できない。
(導入可) APNICに割り振られたIPアドレス
(導入不可) JPNICに割り振られたIPアドレス

レジストリにおけるDNSSEC導入について

- レジストリにおけるDNSSEC導入とは

ISP事業者	逆引きDNSサービスにおけるセキュリティ
インターネットレジストリ	IPアドレスの割り振り先組織のDNSSEC導入(署名の連鎖)の前提

- 調査研究の対象としてのDNSSEC
 - 導入効果や技術的な運用可能性、耐障害性の課題

レジストリにおける逆引きDNSSEC導入で 起こりうること

- リスク
 - 障害などによって逆引きの該当ゾーンが引けなくなるなどの運用上のリスクがある
- 逆引きDNSの重要性とDNSSEC
 - 逆引きDNSが現在使われている
 - DNSSEC導入の位置づけ